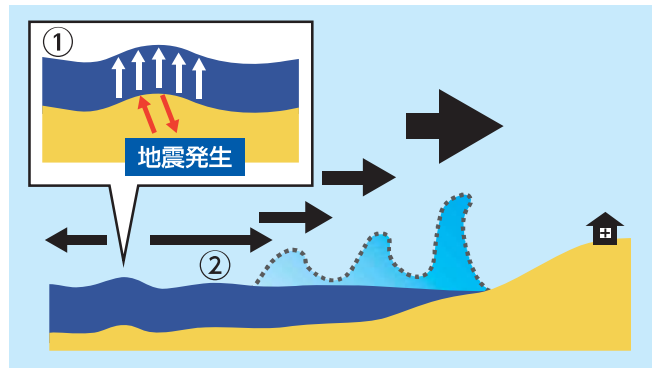


津波の発生と伝播のしくみ

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動のため広い範囲で海底面が持ち上がったたり下がったりすることがあります。この地形の変化が海水に伝わり、大きな流れとなって四方に伝わっていきます。これが津波です。

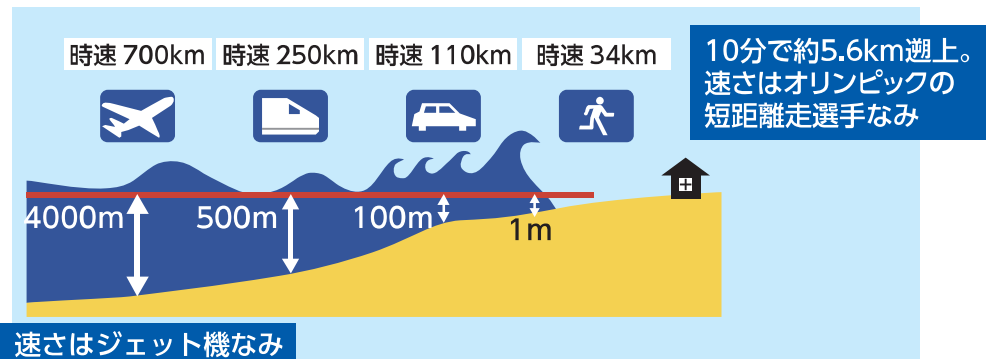


①地震により海底・海面が隆起・沈降

②海面変動が大きな波となり四方八方へ伝播
→沿岸へ来襲

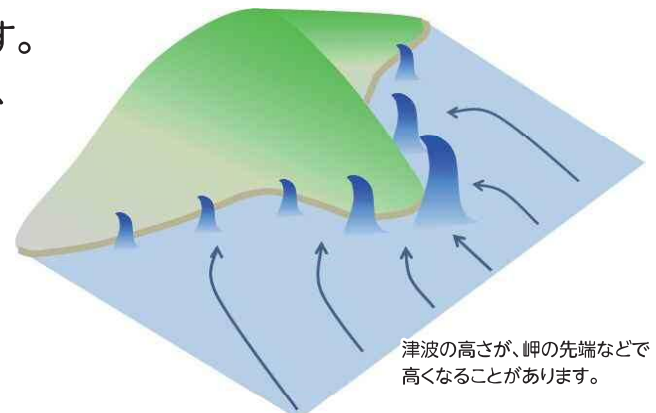
津波の伝わる速さ

津波は、海が深いほど早く伝わる性質があり、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近付くにつれ後から来る波が前の津波に追いつき、津波の高さが高くなります。津波の速度は海岸付近でオリンピック短距離走の選手並です。津波が見えてから避難を始めても間に合いません。海岸付近で地震の揺れを感じたら、または、津波警報が発表されたら、実際に津波が見えなくても速やかに避難しましょう。



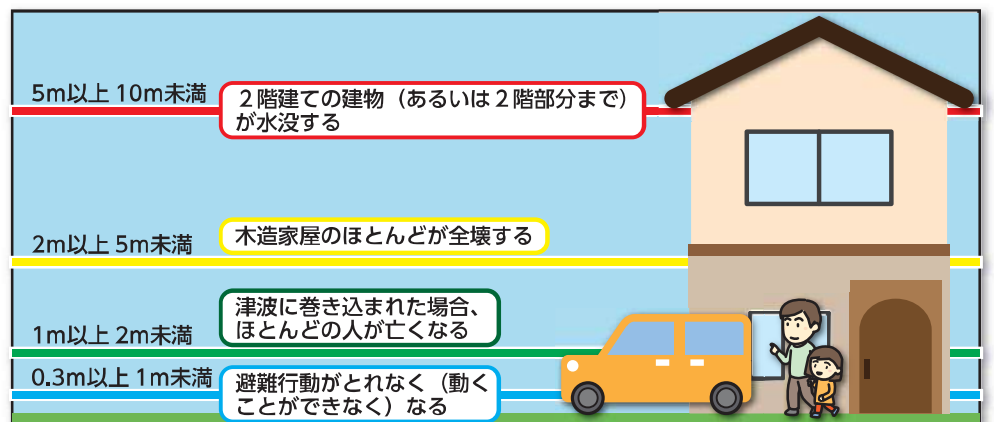
地形による津波の増幅

津波の高さは海岸付近の地形によって大きく変化します。さらに、津波が陸地を駆け上がる(遡上する)こともあります。岬の先端やV字型の湾の奥などの特殊な地形の場所では、波が集中するので、特に注意が必要です。津波は反射を繰り返すことで何回も押し寄せたり、複数の波が重なって著しく高い波となることもあります。このため、最初の波が一番大きいとは限らず、後で来襲する津波のほうが高くなることもあります。



津波浸水深の見方

岩手県、宮城県を対象とした津波被害調査結果によると、津波による浸水深が1m以上になると、津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなると考えられます。また、津波による浸水深が2m以上になると木造家屋のほとんどが全壊します。



津波ハザードマップで自宅や職場の浸水深を確認しましょう！